



魚は見えます。さらに、沖から手前に速く当たって、右側(里港の方向)に、そして沈み込みも速いです。アツという間に沈んで見えなくなります。どうしよう...

〈仕掛け〉
とり合えず、仕掛けを作ります。仕掛け図を参照して下さい。

朝7時前、釣り開始。さきのマキエで潮が当たって来るのが解っていたので、始めから遠投して流してみます。最初は、3ヒロ半です。思ってたよりも速く当たって、右に、しかも、当たり前ながらの右方向なの

〈特集〉 春グロ&桜ダイに 挑戦しよう!! (マダイ)

で、イキツケの瀬をまいていく感じ。もちろん、ツケエサをさわりません。それと通常なら、この仕掛けはなじむと沈むように作っているのに、まったく浮いたままで、仕掛けがなじんでいないのが分かります。

そこで、まずウキ下を30センチ浅くすると、少しは、なじみ出した感じが、まだ、遅い。さらに30センチ浅くすると、すぐになじんでいるが、今度は、ウキ下が浅くなりすぎた感があるので、沈み込みながらのタナ調整・ハリスに打っているジタン5号2個の上の分だけ4号に重くすると、いい感じ。ウキ下は、遊動部が50センチぐらいいで、ハリス2ヒロ半でウキが海面

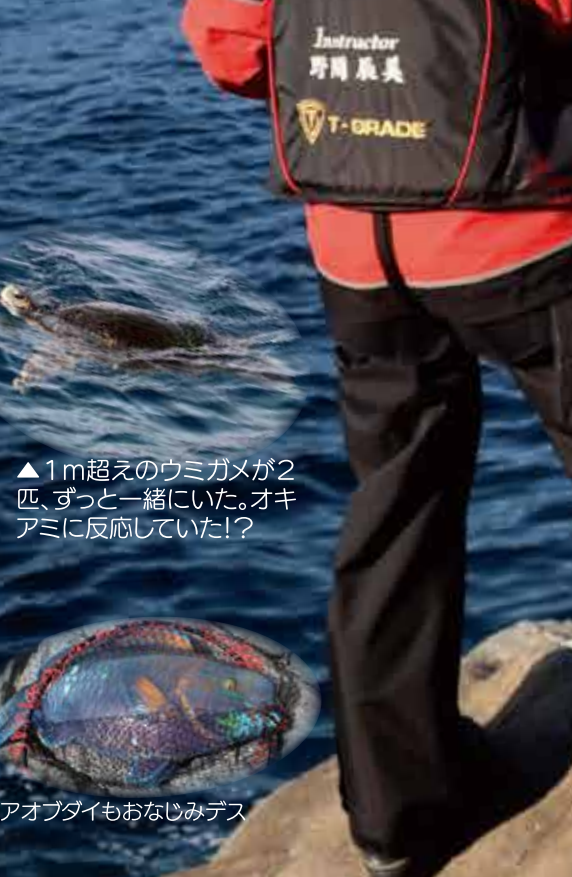


▲結束力、粘り強さがさらにUPしたブラックストリーム!!



▲1m超えのウミガメが2匹、ずっと一緒にいた。オキアミに反応していた!?

アオブダイもおなじみです



クロ釣り師の皆さん、今年の寒グロは、よく釣れましたか? 今年は全体的にきびしい釣りになった方々が、多かったと聞いています。そこで、春グロ釣りは、いかがでしょうか? 今現在(4月上旬)は、海水温も低く、またクロ自体が、産卵に入っているため、きびしいですが、この号が、出る4月下旬からは、海水温も上昇傾向になり、またクロも産卵後の体力回復のため、活発な喰いを見始める頃です。日を追うごとに、よくなって、ゴールデンウィーク前後は、4センチ前後がメインで、大型混じり数釣りが可能になってきます。

また、マダイやイサキも春から梅雨にかけて旬をむかえるので、こちらも楽しみです。そこで、今回産卵後の春グロと旬をむかえた磯からのマダイ釣りを考えてみようと思います。

〈実釣〉
3月29日(日)にいちき串木野市の蝶栄丸さんで、甌島の里に出掛けて、春グロが釣れたらいいなぐらいの感覚で行って来ました。当日の

潮は下りの中潮(※注2日目、満潮が午前10時30分ぐらいで、それから回収の13時まで下げ潮を釣る感じで、クロ釣りにはい、いい潮加減だと思っています。ただ風が強い。北または、北東の風で、約12m吹いていると船長が言うて、去って行きます。波も2.5mで、予報では、1.5mに落ちますが、午前中は、ほぼ関係なく時化(シケ)ている状態だと思っています。

私達が降りた磯は近島の「イキツケ」で、里港が斜め右に見えます。ただこの日は、他の渡船は、出船なく蝶栄丸さんだけで、他のお客さんも近島から地磯だけで沖磯には、降りていないようです。

(※注)下りの「潮」(般に大潮後の、干満差が小さくなって行くときの潮を下りと呼び、逆に若潮・大潮へと干満差が大きくなる時の潮を上りと呼びます。北上する潮を上り、南下する潮を下りとも言いますので、混同しないようにネ)

今日用意したマキエサは、オキアミ(生)3kgを2角、アミエビジャン

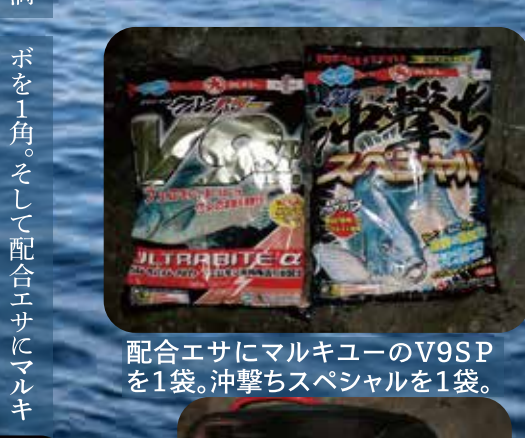
ボを1角。そして配合エサにマルキユーのV9SPを1袋。沖撃ちスベシャルを1袋。これを2回に分けて作ります。甌島の釣りは、他の釣り場より時間が短いのでこれぐらいがいいと思います。風が強いのできつちりまとまって遠投できるように、水加減に気をつけていいいに仕上げます。アミエビは、最初にこまかくつぶし、オキアミは、あまりつぶさずに原形を多く残すような感じで混ぜ込みます。

早速、マキエサを竿本ぐらい先に広く打って、様子を伺いますが、



野間辰美

←潮上に打つマキエで仕掛けと同調させる。欠かせないマキエ!!
↓ウキ
当て潮の流れ



配合エサにマルキユーのV9SPを1袋。沖撃ちスペシャルを1袋。



▲風が強い時でも、まとまり良く、海中で拡散する『沖撃ちスペシャル』は大変重宝します!

↑アミエビは、最初にこまかくつぶし、↓オキアミは、あまりつぶさずに原形を多く残すような感じで混ぜ込みます。